

令和2年度 さくらんぼ園内における自己評価結果

社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会  
舞鶴こども発達支援施設 さくらんぼ園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	67%	30%	・今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策として、曜日ごとの利用児童を二つのグループに分けて療育に当たっている。	
	2 職員の配置数は適切であるか。	44%	56%		・適切だとは思いますが、今後、利用数が増えたら考えていくことも必要。 ・個の課題に応じた配置を考えていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	89%	11%	・段差のないバリアフリーの施設内で、成長や発達に課題のある児童にとって活動しやすい空間になっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	89%	11%	・毎日室内の清掃を行い、衛生的な状態で活動できるようにしている。新型コロナウイルス感染予防策も行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	43%	57%		・グループでの日々の振り返りが、時間がなくてできていないことがある。 ・PDCAサイクルによる業務改善に向け、今後も振り返りを大事にしながら取り組んでいく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	62%	38%	・日々の連絡や保護者アンケートなどを通し、業務改善に活かそうとしている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	100%	0%	・昨年度からホームページで公表している。	

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%		・本年度、舞鶴市社会福祉協議会が、「きょうと福祉人材育成認証制度」認証事業所として認証されたこともあり、さくらんぼ園も数年内に第三者評価を行っていききたい。
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	67%	33%	・毎月1回、外部講師を招聘し、園内研修を実施している。 ・年間計画により、外部研修にも参加している。	・研修の多様化が課題である。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	86%	14%	・療育希望者のインテークから始まり、ニーズを聞き取った上で計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	44%	56%	・標準化されていないツールを使用して療育にあたっているが、保護者のニーズにより、臨床心理士が標準化された発達検査を実施する場合もある。	・今後は、標準化されたアセスメントツールの利用についても考えていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	78%	22%	・最近「家族支援」の必要なケースが多いと感じる。保護者の話をしっかり受け止め、丁寧な関わりをすることに留意している。	・必要な支援を適切に選択し、具体的に支援内容が設定できているかどうか、日常的に保護者に聞く必要がある。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・意識して行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71%	29%	・同じ活動でも児童のタイプによりスムーズにできないこともあるので、スタッフの意見を聞いて内容を組み立てている。(十分な時間がないときもある。)	・活動プログラムは、そのグループのリーダーが中心になり、児童の特性や発達の状況を考慮して立てている。今後も、「チームで」を大事にしながら立案していきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	89%	11%	・よかったこと、そうではなかったことを反省し、固定化しないように考えている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	89%	11%	・子どもの全体の姿を見て計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	89%	11%	・毎朝のミーティングは十分な時間をとっている。新型コロナ対策も含め、綿密に打ち合わせできている。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	43%	57%	・療育の振り返りや次回への方向性を職員間で話し合っているが、他の業務もある中で、十分に時間をとれていない現状がある。 ・終わってから子どものことについてはよく話をする。 ・以前のように十分時間はとれていないが、個々のスタッフの意見は聞くようにしている。また、「こうしてほしい。」という要望も伝える場合がある。	・活動のねらいや展開のあり方を反省し、次の療育につながるような振り返りのあり方を探っていく必要がある。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・毎日の記録は徹底されている。 ・児童の発達記録を見直すことで療育の参考になることがある。	・日々の記録以外の書類作成が多いので、要領よく行えるようにしていきたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	75%	25%	・6ヶ月に一度のスパンでモニタリングを行っている。保護者の思いがこの機会に聞けることで参考になることが多い。	・保護者の願いやニーズを支援計画に反映するようにしていきたい。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	86%	14%	・相談支援専門員を中心に、個々に合ったサービスを整理したり、提供したりできるようにする必要がある。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	89%	11%	・関係機関との連携は、密にできている。その上で支援を行っている。舞鶴市子ども支援課や保健センターとの連携会議も実施している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と関連した支援を行っているか。				・医療的ケアが必要な子どもは通園していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	100%	0%	・毎月、医療機関に依頼し、ケースカンファレンスを行っている。そのため、医療機関につながっている児童の主治医とは連携はとれている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・児童の教育相談に同席した際、情報を共有している。また、必要に応じ、電話等で情報共有している。	※ 年1回公開療育を行い、各並行通園先の先生と情報を共有しているが、本年度は新型コロナウイルスの関係で実施できなかった。(個別には行っている。)
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・就学前に学校との連絡会(療育参観)をもち、移行支援シートをもとに、就学先の先生と懇談をしている。また、保護者の希望により、小学校の学校見学を行っている。	

	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	50%	50%		・今後は、必要に応じ専門機関と連携していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	/			・それぞれが、並行通園している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・毎回の療育終了後には、保護者にその日の様子を伝えている。また、必要に応じて時間を設け、保護者と話をするようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の支援を行っているか。	17%	83%	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集まってもらう機会を設けられないので、それに代わる支援プログラムの検討を要する。	・今後いろいろな方法を考えていきたい。
保護者への説明責任	32	運営規則、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	12%	・さくらんぼ園利用開始前の契約の際、詳しく説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	88%	12%		・児童発達支援ガイドラインについて、今一度全体で確認する機会をもちたい。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・個別支援計画作成時とその評価時に、懇談の機会を設けて聞き取りしている。その他、保護者から相談があった場合は、助言等を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	0%	100%	・今年度は新型コロナウイルス感染予防対策という理由で、保護者の集まりは実施していない。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応しているか。	100%	0%	・保護者からの要望は、できる範囲で対応できていると考えている。	

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・毎月、園だよりを発行して予定等を伝えている。また、決定した予定は、分かった時点で伝えている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	・紙ベースの情報は、書庫に保管し注意を払っている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・日本語がまだ十分に理解できない保護者には、直接出会って対応するなど、分かりやすい言葉で話すようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。				・地域住民が参加するような行事は行っていない。今後もその予定はない。
非常時等の対応	41	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	57%	43%	・防災訓練や防犯訓練は、職員だけで実施している。	・保護者への周知は不十分である。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	75%	25%	・訓練は定期的に行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	86%	14%	・児童調査表に投薬状況を記載する項目欄を設けている。自分の担当児童に関しては、服薬していることは把握できている。服薬の変更時も、保護者から聞き取り把握している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				・保護者からの聞き取りなどでアレルギーの有無は把握しているが、食事をとることがないため、医師の指示書に基づく対応はしていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	17%	83%		・事例集は作成していない。予測される危険性については留意し、療育を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員研の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	40%	60%	・職員の研修が必要と考える。	・外部研修に参加し、事業所内で伝達講習を実施している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織内で決定し、子どもや保護者に事前に十分説明して了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				・身体拘束を必要とする子どもはいない。